

イスラ ムにおける性的平等の概念（パ ト1/2）： 生理学

:

明:
平等に接することと公正さとは、いつも同じ意味であるとは限りません。この 事では近代科学が
した男女 の相 点、そしてそれがいかに近代生活の 々な分野において、2つの性の各々にそぐう公正
さの形に反映されるのかという 果にスポットを当てていきます。

目:[事代における女性](#)

より: アンサ ル アル=アドゥル

日 4 May 2010

集日 24 May 2010



平等性の概念と、それがいかにイスラ ムにおける男性と女性に 付けられているのかと
いうことを する前に、私たちは重要な区 をしなければなりません。平等について す多
くの人々は、そのことが 集 を全く同 に うことで反映されなければならない、と考えて
います。しかしこれは明らかに、必ずしも 切な行 ではありません。ごく少数の人々に
しか相 しくないような一つの基 に彼ら全 を 属させるのではなく、人々のニ ズ、 さ、能
力と障害に して融通を利かせて捉え、考 しなければなりません。

このように、私たちは表面的かつ手 き上の平等と、 的な平等 つまり正 の区 をする必要
があります。多くの社会は、重要なことは表面的かつ手 き上の平等に的を ることでは
なく、全市民に 的な平等を提供することであると めています。そして、それは彼らの

ニズと状にじて、彼らを公正にうことなのです。人は、法的な平等が公正さをくとなしているゆえに、日の法的な平等を手き上の平等よりも好みます。私たちは、私たちの仕事、学校や商地域において、障害をもった人々を受け入れます。また私たちは、裕福な者が税の象となる一方で、社会における困者が社会福祉的配を受ける必要があることをめています。私たちは、その人生において感情的精神的身体的困を感じている人々に、特な配と考を施します。そしてこれらの全ては、法的な平等、公正と正なのです。

男性と女性

男性と女性にしては、しもが彼らのにの余地のない固有の相点があるとめています。彼らは同一ではありません。男性と女性は、々な点で自然になるのです。それゆえ、それらのいをおろそかにし、彼らが互いに同ではないにおいて一基を主唱することは、理的なことではありません。それは手き上の平等ではあるかもしれませんが、法的な平等ではないのです。例えば妻が妊娠している、その夫が彼女にして、彼と同じくらい一生命くように提案することは、正ではありません。むしろ彼女の妊娠における担と、夫がそれにじて物事を整することの必要性をすることによって、正が行使されるのです。男女には、明らかな生物学的相点があります。男性は月も出もしませんし、女性は一般に男性より生きし、男性に比して老年期の健康が少ない向にあります。AARP会は、男性と女性の8つの健康的相点にする事を表しました：

健康にし、男女の相は、年度と必要な置を得ることにする彼らの度のみならず、非常にです。男性が医者の子を取るにあたって2、3の理由を必要とする合にえて、以下の事柄を考しなければなりません

- ・アメリカ合国における男性の平均寿命は74.4であり、女性の平均寿命である79.8よりも5年短い。
- ・癌による死は、男性の方が多い。
- ・65以前に心病によって死に至るケスの70%は、男性である。

睡眠中に一旦呼吸が停止しては再呼吸する、という危険な障害の可能性がある睡眠中の呼吸症は、女性よりも男性に多く見られる。

- ・自殺する男性は、女性に比して4倍もの数に上る。自殺は、男性の死因の第8番目に位置づけられる。
- ・男性は40歳以降、女性に比して冠状動脈性心臓病になる率が50%も高い。
- ・感染に対して抵抗するT細胞は、女性よりも男性の方が少ない。
- ・100歳になる女性は、男性に比べて8倍も多い。

オリンピックでは、男性と女性は生理学的な違いのため、競争します。18歳の、平均的女性の身長は64.4インチ（164cm）、体重は126.6ポンド（57.5kg）ですが、平均的男性の身長は70.2インチ（178cm）、体重は144.8ポンド（66kg）あります。体重に比した全身の筋肉量において、男性は女性よりも50%多いです。また平均的女性の心臓は、平均的男性のそれより25%小さいです。そして女性は、男性よりおよそ10%多くの脂肪を有します。[\[2\]](#)

一方学問分野においては、女性は言語や人文科学といった科目において、男性よりも一般に高い得点を獲得します。そして数学と科学においては、その逆の傾向が観察されます。いずれの性にも、独特の強みと能力があるのです。男性と女性の精神的な違いにして、「男性と女性は本当に違ったように考える（Men and Women Really Do Think Differently）」という表がつけられたある事には、以下に示す最近の科学的調査が引用されています：

カリフォルニア大学アーヴィン校の心理学教授リチャードハイエル氏は、ニューメキシコ大学からの同僚との共同研究を行い、以下のような結果を告しました：男性は、一般的な知性として測定している灰白質にし、一般に女性のほぼ6.5倍の量を有しています。しかし一方で、女性は知性として測定している白質にしては、男性よりもほぼ10倍の量を有しています。…灰白質は人の脳において情動処理センターの役割を担いますが、白質はこれらの処理センター

をネットワーク化する役割を果たしているのです。

ニューメキシコ大学の神心理学者である共著者のレックス・ユングは、こう言っています：「この研究から得られた結果は、男性と女性がなぜ異なるの仕事において行っているかを明してくれるかもしれません。」ユングは言います：「例えば男性は、数学などの、より局所化されたスキルが要求される仕事により秀でる傾向があります。一方女性は、その領域に広く分布する灰白（言語技術などを促します）から情報を集め、融合することをより得意としているのです。」[\[3\]](#)

また「今日の心理学 (*Psychology Today*)」に記されたのは、男女の相違を「不可避なるもの」と形容しています：

言語、そして技能に寄与する手の使い方にして言えば、男性に比して女性の方が非常に集中的に化されているようです。これは、一般的に女性の方が早期に喋り出し、より明晰にし、かつ手を用いた技能においてより優れた能力を有している、ということにしていると言えるでしょう。また女性における右利きの割合は、男性に比べて明らかに大きなものです。男性と女性は、全体的な能力において異なるわけではありませんが、言語の定数など特定のより抽象的な仕事に就く際には、女性の方が男性のそれより散的に化されているのです。

…カリフォルニア大学バークレー校の神心理学者マリアン・ダイヤモンドは、雌雄のネズミの皮の厚さを比し、女性ではある年においてのみ左皮が厚くなる一方、男性では大方の年において右皮が厚いことを示しました（1984年11月号の「今日の心理学 (*Psychology Today*)」内、「[脳による情事 \(A Love Affair with the brain\)](#)」をご覧ください)。…男性と女性が生理的に、そして心理的に多くの重要な点において相違することは、避けられない事であるようです[\[4\]](#)

現代の心理学的研究は、行動パターンにおいて最も明白なものから、群の中の怒ったを見つけるなどといったものと同じくらい些なものまで、男性と女性の違いを明らかにし続けてい

ます。2つの性のそのように明らかな相を考してみれば、男性と女性が同一の役割を引き受けることは不切でしょう。ニューヨークタイムズの女性の健康に関する事の中で、以下のような言及がありました：

男性が出来ることは女性にだって出来る、というフェミニスト的前提と照的に、科学はあるのことに限って言えば、女性の方がよりよくこなすことが出来ることを明しています。そしてまた、女性には男性に多くの生物学的、及び力的利点があることも明しているのです。しかしその反面、女性が男性と同じに出来ないことも存在します。[\[5\]](#)

神は私たちが異なる形に、しかし力や能力においては互いに足し合うように造られました。成功するにあたり、男性が女性を不必要とすることも、またその逆もないのです。

Footnotes:

[\[1\]](#) 「男女の8つの健康的相 8 (*Health Differences Between Men and Women*)」 Gaby Gollub著 (<http://www.aarp.org/bulletin/yourhealth/Articles/a2004-02-17-8diff.html>)。

[\[2\]](#) Performance Moderator Functions for Human Behavior Modeling in Military Simulations (ADDENDUM) Adrenaline Khat Exertion, Chang Y Chung, Dr. Barry G. Silverman, Jason Cornwell. (http://64.233.167.104/search?q=cache:OYtYvD7FS3QJ:www.seas.upenn.edu/%7Ebarryg/PMF_Addendum1.doc)

[\[3\]](#) 「男女は本当に違ったに考える (*Men and Women Really Do Think Differently*)」 Bjorn Carey著、LiveScience社 (http://www.livescience.com/humanbiology/050120_brain_sex.html)。

[\[4\]](#) 「男性の、女性の：秘められた相 (Male Brain, Female Brain: The Hidden Difference) *Psychology Today* Nov, 1985

[\[5\]](#) 「ニューヨークタイムズ」 (<http://www.nytimes.com/specials/women/nyt98/21saga.html>)

この 事のウェブアドレス:

<https://www.islamreligion.com/jp/articles/458>

著作 2006-2015 断 を禁じます。 2006 - 2023 IslamReligion.com. 断 を禁じます。